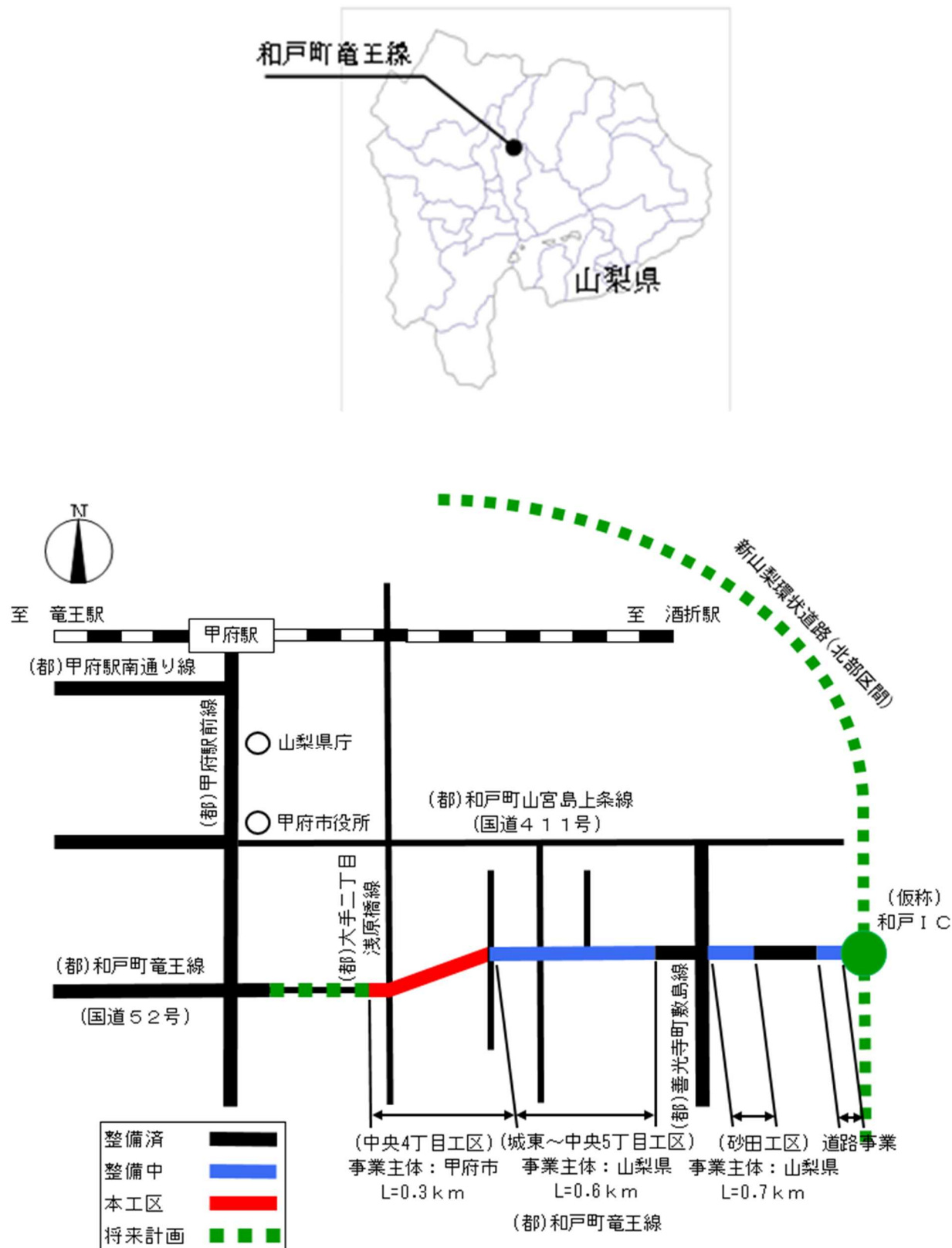


再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担 当 課：都市局街路交通施設課
担当課長名：中村 健一

事業名	都市計画道路和戸町竜王線（中央4丁目工区）		事業区分	街路	事業主体	甲府市
起終点	起点 山梨県甲府市中央四丁目 終点 山梨県甲府市相生二丁目				延長	0.3 km
事業概要	和戸町竜王線は、甲府市和戸町を起点とし、甲斐市新堰橋の国道20号に至る4車線の幹線道路であり、今後建設が予定されている新山梨環状道路（仮称）和戸ICと接続予定である等、山梨県内道路ネットワークを構成する重要な路線の一つである。甲府中心市街地は公共交通機関が脆弱な中で、マイカーや業務用車両等、自動車交通によるアクセスが悪く、郊外居住や人口減少により空洞化が進んでいる。このため和戸町竜王線を整備し、甲府都市圏の道路ネットワークを形成して、アクセス性の向上を図り中心市街地の都市としての機能を再構築することを目的として、道路改良および電線類地中化の整備を行う。					
H23年度事業化	S21年度都市計画決定	H23年度用地着手	H28年度工事着手			
全体事業費	27億円	事業進捗率	約93%	供用済延長	0 km	
計画交通量	17,700台/日					
費用対効果分析結果	B/C	総費用	(残事業)/(事業全体)	総便益	(残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体)	34.6/76.4 億円		80.3/80.3 億円		令和2年
	1.1	事業費：34.6/76.4 億円		走行時間短縮便益：58.8/58.8 億円		
	(残事業)	維持管理費：0.02 / 0.02 億円		走行経費減少便益：13.6/13.6 億円		
	2.3			交通事故減少便益：7.9/7.9 億円		
感度分析の結果	(事業全体) 交通量：B/C= 0.9~1.2 (交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C= 2.1~2.6 (交通量 ±10%) 事業費：B/C= 1.0~1.2 (事業費 ±10%) 事業費：B/C= 2.1~2.6 (事業費 ±10%) 事業期間：B/C= 1.0~1.1 (事業期間±1年) 事業期間：B/C= 2.2~2.4 (事業期間±1年)					
事業の効果等	隣接道路事業（H29年度供用開始）及び甲府駅南口周辺地域再整備事業（H25～H30）など複合的な施策を実施することにより、周辺地域から中心市街地への来訪者を増加させて中心市街地の活性化を図るとともに、現道の渋滞緩和や歩行者・自転車の安全確保、災害時の避難路機能、観光産業への寄与などの効果が見込まれる事業である。					
関係する地方公共団体等の意見	・本事業への異論は特になし。					
事業評価監視委員会の意見	・「事業継続」することは「妥当」である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・和戸町竜王線（砂田工区）の開通（H29） ・甲府駅南口周辺地域再整備事業に伴う南口の整備（H25～H30）					
事業の進捗状況、残事業の内容等	・用地取得率100%、事業進捗率約93%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・引き続き、早期開通に向けて事業を進める。					
施設の構造や工法の変更等	・新技術・新工法や現地の状況も確認しながら積極的にコスト削減を図っていく。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	本路線は、甲府市中心街と新山梨環状道路北部区間の和戸ICを結ぶ重要なアクセス道路であり、渋滞緩和や中心街の活性化に繋がる路線であることから継続推進を行っていく。					

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。